

平成29年度 学校自己評価システムシート (武南中学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	1 日々の学習学習に支えられた豊かな教養の育成 2 きめ細かな躰・生活指導による優れた人格の育成 3 グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成
--------	---

重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行うことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	3名
-----	-------	----

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				29年度評価 (2月14日現在)			実施日 平成30年2月16日	
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業の充実・改善	1 基礎力(1,2年)を身につけさせた上での応用力(3年)の指導 2 生徒の実態を把握し効果的な先取り教育の実施 3 生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法の研究 4 基礎学力を身につけさせるための授業時間確保 5 学力向上	1-①教員の資質能力向上を図る研修の実施 2-①国語・数学・英語の先取り教育を実施する 3-①教室訪問・授業参観を行い、よりよい学級づくり授業づくりに取り組む校風を醸成する 4-①予習・復習の奨励と学習時間の確保 5-①学力向上講座の実施	○全教員の授業観察と観察シート用いた意見交換の実施(5,6月) ○「授業力」自己診断シートに基づく自己分析 ○学力推移調査の結果分析	・授業観察シートを活用し全員の授業を参観後、個別に指導を行った ・先取り教育を実施し、2年次で中学校数学を終了 ・最低午前1回、午後1回は校内を巡回し、短時間ではあるが授業の参観を行っている ・自学習の奨励と提出物の期限を守らせることが担任によって温度差がある ・学力向上講座を第2土曜日に実施	B	・授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ・教員相互の授業研究を進め、授業実施上の課題等を共有し各自の指導力を高める ・英語教育の充実発展を図る(英会話の時間を帯状に取る・ネイティブorALTの導入) ・BASL(Bunan Advanced Self Learning)の時間を確保し、生徒の振り返り力を伸ばし学力の向上を図る	・先取り教育が確実に実施されていることは評価できる ・中堅層の30~40代の教員が少ない。グローバルリーダーを目指しているのにネイティブの先生が一人というのが気になる ・教員の意識改革が必須である ・保護者会の後に教師と保護者との「意見交換の場」を実施してはどうか ・授業や生徒への指導について教員の温度差が気になる ・魅力ある授業の展開に今後も期待する
2	開かれた学校づくり	1 学校説明会・学校公開・入試体験会等々による教育活動の公開 2 近隣小学校との交流活動の拡充 3 組織による通年の生徒募集活動 4 教育活動の情報発信	1-①参加者増を図るため保護者塾関係者に周知する 1-②近隣の塾を中心に教育活動生徒の様子等具体的な説明をする 2-①小学校との連携を重視 3-①川口・蕨・戸田・さいたま市を中心に行う 4-①HPの更新を週3回は行う	○興味関心を抱く広報を周知し学校説明会 学校公開等を実施 ○月1回の中学校便りを蕨市教委・市内小中学校・市内公民館に配布 ○市内行事への積極的参加 ○学年・クラス通信の発行と、リアル版でのHP更新	・説明会参加者は増えたが、受験までには至らない ・毎月の中学校便りは欠かすことなく配布している ・塚越小との連携を行った ・蕨ロードレース大会参加 ・HPやポータルの更新は増えたが更なる努力が必要	C	・学校だよりの配布により、参加者が増えてきている ・各自の担当塾を固定し学習塾との連携を図る ・HPの更新が週に3回行うことができなかつたので必ず更新させる ・小学生対象の各種体験会を実施する	・学校の地域貢献活動、学校だよりの配布等は評価できる ・塾訪問は評価できるが、塾の学校への評価があまりよくないという現実を踏まえて生徒の学力向上を目指す ・イブニング説明会のさらなる充実を ・努力するなかでの入学者減少の原因と課題を緊急に対応すべきである。特に塾へのアピール対策など
3	進んで行うことができる自主性と学力の向上	1 学習時間の確保を学校全体で取り組む 2 朝読書・BASLを確実に行う 3 予習・復習を計画的に行い学力向上を目指す 4 道徳授業の充実を図り、規範意識を高める	1-①小さな時間を積み上げて確保させる 2-①生徒だけではなく学校全体で朝読書を行う 2-②BASLの時間を確実に確保し一日の反省と明日への準備をさせる 3-①長期休業中に実施する講習は、現状分析を行い学力向上を図る 4-①31年度完全実施の教科化を意識させ取組ませる	○学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保 ○入学当初にHR合宿を行い、中学での学習(学習の量、スピード、質)を学ばせる ○portalの活用 ○道徳の研究授業を行う ○生徒による規範意識向上の取組み	・早朝の自学習等々、小さな時間の積み上げが大切であることを全教職員で指導している ・HR合宿、Englishキャンプ、学習合宿を実施し、学習方法を学ばせた ・2年のアジア研修では事前学習を有効的に行っている ・囲碁のある週は金曜日も7時間にし道徳の時間を35時間確保した	C	・中学生としての学習方法を確実に身につけさせる ・家庭学習をはじめ学年+1時間の自学習を毎日行わせる ・高校進級時の進級テスト(併Iの入試問題)は一貫の生徒が外部受験者と合わせ17番目の成績で昨年度の7番から10番下回った。成績にばらつきがあるので、全員が半分よりも上位で通過するようにする	・早朝学習、家庭学習、学習合宿等生徒の反応、意見なども取り入れた工夫をするなど更なる充実に向けて期待する ・生徒間のばらつきの差がありすぎる。少人数なので各教科担当が生徒一人ひとりの理解度を把握し、その理解度に合わせた課題・補習を行い全体的な底上げが必要。生徒を塾に行かせなくてもよい指導をしてもらいたい ・集中力を持続させるためマスコミで話題となっている事柄をミキシングして息抜きとして話をしてみてはどうか
4	生活指導の徹底	1 生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める 2 凡事徹底により、規範意識を高める 3 挨拶の励行	1-①教職員の共通認識による攻めの生徒指導を徹底する 2-①授業に取り組む意識の向上を図る 2-②時間を守る・服装を正す等々繰返し指導を行う 3-①挨拶をすることにより、自己の存在をアピールさせる	○登下校の指導を行う ○個々の教師に負担がかからないよう問題を共有し学校全体で取り組む ○教職員が率先して行う	・教師の力量に差があるため学校全体としての共通認識がまだまだ持っていない ・毎週金曜日に行う中学校の会議で報告連絡は行うことができている ・凡事徹底を教職員が率先垂範するよう指導している	C	・凡事徹底を強化し、生活規律・学習規律を高める ・事後処理の指導ではなくはなから攻めの生徒指導を行うようにさせる ・各委員会活動を活性化し生徒による自治ができるようにさせる	・中学校の訪問の際、明るさが感じられません。元気な挨拶、元気な声かけ、声だしを意識してはどうか。 その上で凡事徹底の強化を図ってもらいたい ・生徒は元気で挨拶も声が大きく好感もてる ・日本人特色の「躰」教育も大事ではないか ・教員の年齢のバラツキの幅が広すぎるのも力量の差が出る一つの要因と思われる
5	部活動・学校行事等の充実・振興	1 部活動の時間の確保 2 委員会活動を奨励して自治意識を育てる 3 生徒の意識を高める学校	1-①活動時間を確実に確保する 2-①協力することにより個々を磨く場とする 2-②地域に貢献できる生徒会活動 2-③高校生の規範意識を学ぶ	○優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ○クリーニング作戦を学期に1回実施する ○高校生との活動を行い母校愛を育てる	・朝礼等の時間に各種の賞に輝いた生徒を全校の前で顕彰している ・クリーニング作戦を2学期に実施した	B	・週に2回以上部活動を行えるように行事を精選する ・学校行事に生徒が主体的に取り組めるよう指導する	・さらなる部活動の充実を期待する ・学校行事も熱心に取り組んでいる ・「文武両立」に向けての指導。特に体力前進による「健康第一」は? ・恵まれた生徒が多いと思う。自分の力で何かを達成するまでの苦労や失敗など、たくさんを事を経験させてほしい